

解剖学

1 担当教員名

【研究指導教授】 教授 内藤 宗和
【科目担当者】 准教授 畑山 直之

2 教育目標

(1) ねらい

形態が有るところには機能が宿り、マクロからミクロまでの構造(器官系-臓器-組織-細胞-細胞内小器官-分子)がそれぞれに機能して初めて、生体のシステムが成り立つ。このような生命の基盤を扱う解剖分野の特性を背景に、興味のあるテーマを各自で決め、以下の目標に向かって研究を行う。

(2) 学修の到達目標

- ① 適切に文献検索を行い、論文内容を説明できる。
- ② 問題解決のための議論に参加できる。
- ③ 研究をデザインして、統計処理を実施できる。
- ④ 実験動物を用いて研究を実施できる。
- ⑤ 組織標本を作成し、研究結果を説明できる。

3 授業内容

【講義】	形態を軸とした基礎的な知識、観察法、評価の仕方を講述する。
【演習】	興味を持ったテーマに関する論文を読み、討論を行う。
【実験研究】	多様な実験動物を用いて幅広い観点から研究を行う。

4 成績評価の方法・基準

情報収集能力、研究に関する感性、独創性、論文制作能力を総合判定する。

5 教科書・参考図書

特になし。

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前に提示された論文の事例などに目を通しておく。(1週間に7時間程度の予習・復習が望ましい。)

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

形態学に関する論文作成を通して、形態学分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力、特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

レポートは、評価後返却し、不足している知識に関して議論を行う。理解が不十分な場合は再提出を求められることがある。

9 履修上の留意点

社会に還元できる研究を目指して取り組むこと。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	内藤 宗和	月	15:00~16:00	2号館 研究棟 254 号室 研究棟 307 号室	内線 12254 12307
		水	12:30~13:30		
		木	9:00~10:00		
准教授	畑山 直之	月・火・水	16:00~18:00	2号館 研究棟 364 号室	内線 12364